

別表 1 : 評価項目及び評価基準

工事名 : 大牟田市旧橋中学校再編多目的棟新築工事

区分		評価項目	評価基準		配点	
企業 の 技 術 力	① 施工実績の状況	平成27年4月1日から令和7年3月31日までの期間の同種工事の施工実績 : 注1	5件以上の工事の実績あり		3.0	3.0
			3件又は4件の工事の実績あり		2.0	
			1件又は2件の工事の実績あり		1.0	
			実績なし		0.0	
② 工事成績評定の状況	平成27年4月1日から令和7年3月31日までの期間の本市の建築一式工事の工事成績評定点の平均点 (本市の工事成績評定点の対象工事がない場合にあつては、国又は他の地方公共団体が発注した建築一式工事の平成27年4月1日から令和7年3月31日までの期間の実績の有無) : 注2	本市の工事成績評定点の対象工事ありの場合	70点以上	3.0	3.0	
			65点以上70点未満	2.0		
			60点以上65点未満	1.0		
			60点未満	0.0		
本市の工事成績評定点の対象工事なしの場合	国又は他の地方公共団体の発注工事の実績あり	1.0				
	国又は他の地方公共団体の発注工事の実績なし	0.0				
③ 技術者保有状況に基づく信頼度	開札日現在において5年以上継続して雇用する1級建築施工管理技士又は1級建築士の資格を有する者 (それぞれの資格を継続して5年以上有する者に限る。) の人数 : 注3	3人以上		2.0	2.0	
		1人又2人		1.0		
		0人		0.0		
④ 品質管理・環境マネジメントシステムの取組状況	ISO9001又はISO14001の認証の取得 : 注4	両方とも取得している		1.0	1.0	
		どちらか片方を取得している		0.5		
		両方とも取得していない		0.0		
配置 予 定 技 術 者 の 技 術 力	⑤ 施工実績の状況	3件以上の工事の実績あり		2.0	2.0	
		2件又1件の工事の実績あり		1.0		
		実績なし		0.0		
	⑥ 工事成績評定の状況	配置予定技術者が従事した平成27年4月1日から令和7年3月31日までの期間の本市の建築一式工事の工事成績評定点の最高点 (本市の工事成績評定点の対象工事がない場合にあつては、国又は他の地方公共団体が発注した建築一式工事の平成27年4月1日から令和7年3月31日までの期間の実績の有無) : 注2・注5・注6	本市の工事成績評定点の対象工事ありの場合	70点以上	3.0	3.0
				65点以上70点未満	2.0	
				60点以上65点未満	1.0	
				60点未満	0.0	
	本市の工事成績評定点の対象工事なしの場合	国又は他の地方公共団体の発注工事の実績あり	1.0			
国又は他の地方公共団体の発注工事の実績なし		0.0				
⑦ 継続教育の取組状況	配置予定技術者の継続教育 (CPD) の取組 : 注5・注7	公益社団法人日本建築士連合会が定める目標単位以上		1.0	1.0	
		公益社団法人日本建築士連合会が定める目標単位の2分の1以上目標単位未満		0.5		
		公益社団法人日本建築士連合会が定める目標単位の2分の1未満又は取組なし		0.0		
⑧ 資格の保有年数の状況	配置予定技術者が保有する1級建築施工管理技士又は1級建築士の資格の保有年数 : 注3・注5	10年以上		2.0	2.0	
		5年以上10年未満		1.0		
		5年未満		0.5		
		対象となる資格なし		0.0		
企業 の 地 域 貢 献 活 動	本市との災害時における応急対策業務等に関する協定の締結の有無及び令和2年4月1日から令和7年3月31日までの期間の災害対応の活動実績の有無 : 注8・注9	協定の締結あり、活動実績あり		1.0	1.0	
		協定の締結あり、活動実績なし		0.5		
		協定の締結なし、活動実績あり		0.5		
		協定の締結なし、活動実績なし		0.0		
⑩ 地域貢献度	令和6年4月1日から令和7年3月31日までの期間の本市における公共施設の防災予防点検、清掃活動若しくは緊急出動又は本市における防災訓練への参加若しくは自主防災訓練の実施 : 注10	活動の実績あり		1.0	1.0	
		活動の実績なし		0.0		
計					19.0	

注1 「同種工事の施工実績」とは、主たる構造 (増築にあつては、増築部分の主たる構造) が鉄筋コンクリート造、プレキャストコンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造であつて、延べ面積 (増築にあつては、増築部分の延べ面積) が500平方メートル以上である新築、改築又は増築に係る建築一式工事 (建設省告示に規定する建築一式工事をいい、建設業法第4条の規定により建築一式工事以外の建設工事を請け負った場合における当該建設工事に附帯する建築一式工事を除く。注2において同じ。) のうち、平成27年4月1日から令和7年3月31日までの期間に元請で完成させ、かつ、引き渡した実績 (特定建設工事共同企業体の構成員としての実績にあつては、出資比率が100分の20以上である構成員としての実績に限る。) をいう。

注2 「本市の建築一式工事の工事成績評定点」とは、本市 (企業局を含む。以下この注2において同じ。) との契約に係る建築一式工事であつて、平成27年4月1日から令和7年3月31日までの期間に本市に引き渡したものの実績 (特定建設工事共同企業体の構成員としての実績にあつては、出資比率が100分の20以上である構成員としての実績に限る。以下この注2において同じ。) に係る工事成績評定点をいう。

なお、本市の工事成績評定点の対象工事がない場合における国又は他の地方公共団体が発注した建築一式工事の平成27年4月1日から令和7年3月31日までの期間の実績は、当該期間に国又は他の地方公共団体に引き渡した建築一式工事の実績をいう。

注3 「1級建築施工管理技士」とは、建設業法第27条の規定に基づく技術検定のうち、令和2年度以前の技術検定にあつては建築施工管理に係る1級の技術検定の合格証明書を、令和3年度以後の技術検定にあつては建築施工管理に係る1級の第2次検定の合格証明書を有する者をいい、「1級建築士」とは、建築士法 (昭和25年法律第202号) の規定に基づく1級建築士の免許を受けた者をいう。

注4 ISOの認証については、令和7年度大牟田市競争入札参加資格者名簿に登録されている住所の営業所等において取得しているものに限る。

注5 「配置予定技術者」とは、入札工事に配置を予定している主任技術者又は監理技術者をいう。

注6 「施工実績」及び「本市の建築一式工事の工事成績評定点」の対象となるものは、現場代理人、主任技術者又は監理技術者として従事したものに限る。

注7 「継続教育の取組状況」における単位は、公益社団法人日本建築士連合会又は建築士法第22条の4第2項に規定する建築士会が発行するCPD実績証明書であつて証明対象期間の終了日が開札日前6月間にあるものにより取得が証明されたものに限る。

注8 「本市との災害時における応急対策業務等に関する協定」については、開札日前1月間に締結中であることが証明されたものであるものに限る。

注9 「災害対応の活動実績」とは、大牟田市水防本部又は大牟田市災害対策本部の設置時に本市の指示により対応した有償による業務活動の実績をいう。

注10 「緊急出動」とは、「⑨防災協定の有無」における有償による業務活動の実績を除くその他の災害の予防又は防止のための活動をいう。